

令和6年度第2回 今治市子ども・子育て会議 会議録

令和6年11月21日（木）15:00～16:00
今治中央公民館2階 学習室

令和6年度 第2回今治市子ども・子育て会議 会議録（概要）

1 日 時 令和6年11月21日（木） 15:00～16:00

2 会 場 今治中央公民館2階 学習室

3 議 題 今治市こども計画の素案について

4 出席者 【委 員】16名

青井努委員、山口早苗委員、小池由貴委員、山川博一委員、
龍田三津子委員、越智瑞啓委員、浅川文雄委員、杉山恵子委員、
河本大造委員、長尾正人委員、井出早苗委員、矢野信子委員、
風本崇委員、梶原淳一委員、別府武士委員、竹中由梨委員

【事務局】19名

こども未来部長、こども未来政策局長、福祉政策課長、
生活支援課長、健康推進課長、こども未来課長、ネウボラ政策課長、
保育幼稚園課長、教育委員会事務局次長兼学校教育課長、生涯学習課長
こども未来課長補佐、ネウボラ政策課長補佐4名、保育幼稚園課長補佐、
保育幼稚園課企画係長、ネウボラ政策課ネウボラ拠点施設推進係主査、
ネウボラ政策係主査

【事業者】2名

リージョナルデザイン株式会社

5 欠席者 【委 員】2名

泉浩徳委員、津村侑子委員

6 会議内容

副 会 長	当会議の開会 会長が欠席。「今治市子ども・子育て会議条例第6条第4項」の規定により、会長が欠ける時には副会長が職務を代理することになっておるため副会長である青井委員が進行する旨報告。 委員18名のうち、16名出席。2名欠席。「今治市子ども・子育て会議条
-------	--

	<p>例第 7 条第 2 項」に規定する、半数以上の出席要件を満たしており、本会議が成立している旨報告。</p> <p>議事録署名委員に風本崇委員を指名</p> <p>今治市こども計画の素案について説明を求める。</p>
事務局	<p>資料 1~4、その他 1 により説明。</p>
副会長	<p>説明に対する意見・質問を求める。</p>
長尾委員	<p>資料 3 基本目標ごとの成果指標について確認ですけれども、令和 11 年の目標については、数字を出されてるものと向上という書き方があるんですけども、こういう書き方をするということでよろしいですか。</p>
事務局	<p>数値が入ってるものについては、先ほど説明の通り、国の目標としてやつておるもので。例えば、「いまの自分が好きだ」と思う人の割合は現状 63.0%。こちらアンケート結果によって把握できたものでございますが、国の方では、これを 70% にしましょうという目標を掲げております。</p> <p>本市におきましても、70% を目標に、5 年後に行うアンケート結果で、改めて検証しようと考えております。</p> <p>ただ、国としても、数値目標を明記していないもの、一番上のように、家族から愛されている、大切にされていると感じる子どもの割合のような内容につきまして、現状小学生 91.3%、中学生 91.9% とございますけれども、これを 100% にするという目標を入れることも可能ではございますが、現状としては現状の数値をよりよいものにするということで、結果 92% とか 93% ぐらいになればいいなというような定性目標と申しますが、今より良くするという目標値を掲げさせていただこうと思っております。</p>
長尾委員	<p>その他のものについても向上と書かれたものについてはもうこのままの形ということでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>同様に目指すべき数値目標を設定しにくいというところがございますので、同様に定性目標として、現状の数字を向上させるというふうにさせていただきたいと思っております。</p>

長尾委員	令和11年になった時点で、この達成目標については公表といいますか、達成の評価をされるということでよろしいですか。
事務局	はい。継続的にアンケート等を行いまして、現状の数値に対する、5年後の数値については、しっかりと補足することとしております。
副会長	確認なんんですけど、この現状数値というのは、今治市が行ったヒアリングの結果ということでいいんですよね。
事務局	<p>資料2の今治市こども計画素案の101ページの下の黒丸、家族からの愛情についてというアンケート結果が今年の6月に行った子どもの生活状況調査結果として出ているものでございます。</p> <p>数字を入れるのは非常に大切なことなんですけれども、出生目標等も合わせまして、いくらの数値にするべきか、その至るべきゴールの数値というのが明確に説明できない部分について、このぐらいあったらいいなどいう数値目標はもちろんあるんですけれども、拠り所にする部分がなかなか国も明示できないというところがありまして、残念ながら、定性目標という形で、向上を目指していきたいと思っております。</p>
山口委員	資料1の3ページこども計画の基本理念5行目の「施策によって子育ての壁を取り除き」という文章がございますが、子育ての壁というところが、何となく少し抽象的なような気がいたしまして、具体的に何か他の言葉でもいいのかしらと思ったりしました。もう1点は、「すべての子どもが身体的精神的社会的にウェルビーイングを実現することを支え」、まさにその通りですが、社会的にの後に、恒常的に、という言葉を少し入れていただくのも一案として申し上げたいことでございます。このウェルビーイングな状態が人生を通して続くという意味を込めたいと私は思います。
事務局	<p>ウェルビーイング、これは確かに子どもだけではない。すべての市民がというところに通じる部分はあるという中で恒常的にという意味合ひっていうのは、確かになるほどなということでちょっと考えさせていただけたらなと思います。</p> <p>大変抽象的で具体的に何をもって壁と言われるのかということがあるんですけれども、様々な子育てに対する、社会的困難さというのを表現する上で、よく使われている壁という言葉を合わせていただいております。よ</p>

	ろしければ具体性を伴うと非常に多岐に渡ってですね、様々な課題が重層的にあるなかちょっと表現が難しいかなあということでの表現ではございますがいかがでしょう。
山口委員	おっしゃる通りですね、多岐にわたります。目指す姿、この旗のところ、子どもが「それぞれの幸せを」というところを、「自分自身の幸せを」にするですとか、そのあと「実感しながら成長し」を「実感しながら、家族を思いやりつつ成長していく」ですとか、言葉遊びで申し訳ないのですがちょっと考えたりもいたしました。
副会長	恒常的という言葉も良い思うんですけど、こども家庭庁のホームページを見ると「生涯を通じて」とかそういう言葉が出ていました。ずっとというのはすごく意味のあることでしょうから、そのあたりで検討いただければと思います。
竹中委員	「すべての子どもが身体的、精神的、社会的にウェルビーイングを実現すること」というのは、ウェルビーイングという言葉そのものに身体的精神的社会的に幸せな状態という意味合いが含まれているという認識でした。なので、この文章で言うと、言葉が重なっているのではないかと聞きながら思いました。
事務局	ご指摘、おっしゃるとおりでございます。下の注釈のようにウェルビーイングとは何ぞやというところをそのまま列記したかたちになっております。ちょっととここ調整させていただきたいと思います。
越智委員	こども計画を進めていくというのが、令和11年度が目標ということでございますけど、その間、本当この1、2年は、状況が変わってくると思います。まず、うちの認定こども園もそうですが、ぐっと子どもの数が減りました。大規模のみどり幼稚園さんであったり、1クラス減ろうかというような、来年度は状況になっています。そして2年後には何とかの午年がやってきますね。人口減少が甚だしく子どもが、もっと減ってくるんじゃないかなと思います。 その中で、この素案を若者の意見を聞くというのをもっとグレードアップして、若者が本当に今治に帰っててくれるような、ただ単にアンケートとるだけではなくて、今治に帰ってくるにはどうしたらいいですかっていうようなことも、引き続きやってもらえたたらありがたいかなあと思

	<p>ております。</p> <p>先日、東京都の小池知事が蓄電池を設置するのに補助しますって、お金がある自治体は、そういうように子どものいる家庭にお金をなんぼでも入れていけるんですけど、これを同じように今治市がしたら倒産してしまうと思います。</p> <p>一番はやっぱり、令和 11 年までの 5 年の成果だと思うんですが、この素案の中にも、そういった子どもたちを大切にしたいんだっていうことが、すぐに感じ取れるような、文章を期待しておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
副 会 長	<p>少子化が進むと、幼稚園保育所もそうなんんですけど、就学前健診を 3 校ぐらい担当しているんですが、本当に少なくなって 3 クラスが 2 クラスになったり、本当にこういう状況で少子化が進んでいるのを実感します。今更だとは思うんですけど、やはり魅力ある今治、今までされているとは思うんですけども、もっとアピールできることがあるといいなと思います。</p>
事 務 局	<p>今回素案の方概要版ということで割愛して説明させていただいているんですけども、先ほどご紹介したように、この計画策定には様々な方面から、引き続き子どもたちの意見表明の場っていうのは大切なことですので、今後また若い人を集めて聞く機会をつくっていきたいと思っております。</p> <p>そういう中でこのこども計画をつくるにあたって最上位計画が、総合計画というものがございます。今治市に住み続けたいというような中でつくる最上位計画でございますけれども、こちら、第三次総合計画の策定作業に取りかかっておるところでございます。先ほどおっしゃっていただいたような内容をまち全体で、今回児童福祉部門の、ある程度特化したこども計画でございますが、今治市全体で住み続けたいまちをつくっていくための計画についても、若い意見を聞きながら、策定作業が緒についたばかりでございますのでご承知おきいただければと思います。</p> <p>その他施策につきましては、今治版ネウボラの取り組み、これまで拠点施設につきまして、委員の皆様、いろいろとご助言をいただきながら進めてきておる今治らしい取り組みでございます。</p> <p>拠点そしてサテライト、12 の市町村が合併して広い地域の中で、誰もがどこに住んでいても安心して、子どもを産み育てられる環境を作るということをまずもって、市長の政策のもと、最優先事項として取り組ませて</p>

	<p>いただいているところでございます。</p> <p>その他、各施策につきましては、国の交付金を中心に網羅的に取り組んで居るものでございます。</p> <p>これまで取り組んでいる事業を国の大綱に合わせて、再編整理したものでございますので皆さんにとりましては、そこまで目新しいものがないのかなとは思っておりますが、本計画につきましては、毎年度ローリングをかけていくことになっておりますので、引き続き、この子ども子育て会議におきまして、新規施策等がある場合には皆様にご紹介しながら、順次改定を進めたいと思いますので、引き続きのご協力をいただけたらと思います。</p>
副 会 長	<p>字句の修正や全庁にまたがる施策の記載項目の最終調整について、事務局に一任し、本件についてご承認いただけますでしょうか。</p> <p>(承認)</p> <p>その他について説明を求める。</p>
事 務 局	<p>資料に基づき説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今治版ネウボラの子育て支援（成人式配布資料） ・「今治こども公園おひさまパーク」オープニングイベント ・いまばり公園等リノベーションマップ ・今治版ネウボラ相談サテライトモデル事業 子育てひろばハピ
副 会 長	説明に対する意見・質問を求める。
越 智 委 員	<p>最後に紹介していただきました子育てひろばハピということで、今治版ネウボラ相談サテライトモデル事業これは素案の中にも入っておりまます。日吉小学校の跡地をという話なんですが、そこを中心として、各地区でこういう子育てについて伴走支援を、できるところはサテライトとしてご協力させてもらえないかなということで、当初、今治地区の私立の幼稚園協会と、医師会と、そして今治地区にあります小規模保育園、あと医師会が持っております保育園等が一緒に協力しまして、事業を始めたこととなりました。</p> <p>実は先日グランドオープンということで、皆さんにご披露ができたんですが、6月からの開所でございましたが、1日平均19人ほどの利用者の</p>

方に使っていただいて、そして、いろいろ子育て広場というのがあるのですが、どうしても出向かなきやいけないというところがありましたので、イオンモールならこんなところにこんな施設があつたんやなあということで、顔を出してくださる保護者の方が増えてきておりますので、中には、本当に開所時間より閉所の 15 時までずっと使ってるような保護者もいて、そしてここが、何が違うかといいますと要対協の会でも出ましたように、やはり言いにくい保護者の方、子育ての仕方がわからない保護者の方、そういう方が今のところ、やはり来てくださってるような気がしております。やはりお店を開いていらっしゃいしていたら来ない保護者がいる、たまたま通つたらこういう施設があつたのでということで、そしたら、保健師がいる、保育士、幼稚園教諭がいるっていうことで、話がしやすいのか、もうなんかここが自分が通ってる幼稚園なんよみたいな顔して通つてくださる保護者、園児も出てきてるような気がしております。ただ、これは始めたばかりですので、これから今治が抱えております、少子化からくるやはり伴走をしないといけないようなお子さん、保護者の方そういった方々が、早期に解決できる場所であつたらなと思って開所いたしております。

今のところ、幼稚園協会と医師会さんだけなんですが、青井先生にはね、講師でお話をもらったりもしておりますけど。どんどん、今後は歯科医師会も 12 月に会を開いて、一緒に合流していきたいなということでしておりまして、いろんな方が入ってくるんじゃないかなと思いますので、皆さんも、もしイオンモールにおいてた際には、ちょっと覗いていただけたらと思います。今治市からの 100% の委託事業でございますので、一般社団法人を立ち上げてやっております。またよろしくお願ひいたします。

副 会 長

月 1 回小児科医の立場から、いろいろな悩みがあるケース、その日に来てもらって相談に来てもらう。1 日 3 人程度相談があります。病院で診ているときと違つて、この前思つたのは、結構高齢出産のお母さんがいらっしゃって、一人っ子なんだけど大丈夫でしようかっていう質問で、何が心配なのかよくわかんない。一人だとわがままな子になるんじゃないとか本当に漠然とした不安があつて、たぶん病院にはこういうことで相談はしないし、保健センターにも行くこともないでしょうし、なにかわからないけど、自分はこのままで大丈夫だろうかというような人がすごく多い。

どんどん利用者も増えてきてるみたいなので、すごく僕思った以上にすごく機能してるんじゃないかなと思いますので、ぜひこういうところが

	<p>あるよということで皆さんお声掛けしてもらうといいかなと思います。ああいうところに開設していると、ちょっと質問内容が違う、大したことないんだけど、すっと聞ける、そういうところがあるので、意味があるのかなと思います。</p>
山 口 委 員	<p>今治こども公園おひさまパークについて私の知り合いの方が素晴らしい公園だと言われまして、こういう行事のときに一緒に行きましょうと誘われたりして、本当に、地域が明るくなるいいニュースと喜んでおります。それで先日こどもが真ん中フェスタがございました。そのボランティアで出展なさった方が今治市の皆さんがとても熱心に、運営しやすく前の日からきちんと準備してくださって、荷物なども運びやすくしてくださって、本当にありがとうございましたとのことでした。合併 20 周年記念事業本当にありがとうございます。</p>
副 会 長	<p>公園がすごく充実して良くなつたっていう実感で、うちの子どもたちが県外から帰ってくると、本当に公園が充実して整備されていることが結構評価されてるみたいなので、すごく良いことだと思います。</p>
事 務 局	<p>5月に公表いたしましたネウボラ拠点施設の基本計画、現在作業の方進めておりますのでその進捗状況をお知らせしたいと思います。 基本計画に基づきまして、現在、建設、設計、運営、こちらを一体的に業者に発注するための準備作業に取りかかっておるところでございます。 9月にプロポーザルによりまして、準備作業をする業者さん、いわゆる仕様書を作る業者さんの方が契約できまして、現在そちらの業者さんとの細部を詰めておる最中でございます。要するに、どういう時間体どういう料金設定にして施設を運営しようか、そのためには、施設はこれとこれを引っ付けて、何階に何を作つてというような部分を、内部で調整をしようとしている最中でございます。 その運営にあたりましては、今後こんな使い方がしたいという利用者の声、子どもたちの声というのもまた年明けましたら、収集する形でそれを行うような運営のあり方、例えばルールを厳しく作らずに、使いながらルールを決めていきましょうとか、そういったところを考えるワークショップなどを今後展開しながら、来年度の夏ぐらいに 1 度青写真みたいなものができようかと思っております。 そういったところに対してまた皆様からご意見をちょうだいできたらと思しますし、事業者の方にも、今治市の考えている条件はこうなんですか</p>

れども、実際できますかというような官民対話、意見交換をしまして、来年度秋以降ぐらいになればいいのかなと思いますけれども、最終的な業者の発注準備をすることとなっております。

実際に施工業者が決まるのが令和 8 年度ごろになりますて、そこから設計書を作成、工事ということになると 12 年度が最短のオープン、まだまだ先の中で話してございますけれども、委員皆様には、進捗状況についてご報告しますので、関心持つてご協力いただけたらと思います。

当会の閉会

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

職務代理者

副会長

(会長)

青井 努

署名委員

風本 宗

